

デジタルコンテンツ利用に



《討論するパネリスト》写真左から松本零士氏・稲垣隆一氏・久保田裕氏・石澤一良氏

鼎談 家庭・教育の現場で

情報通信のあり方は今も大きく変化し続けている。こうしたなか、情報のやり取りや情報の使い方の「あるべき姿」をどのように共有し、伝えていくべきか。安心してIT機器やデジタル情報を活用できる健全なデジタル情報化社会を構築するために、情報活用ルールやマナー、著作権の知識を身につけることが必要不可欠になっている。先進的な教育改革で注目を集める東京・品川区の教育委員会教育長・若月秀夫氏とコンピュータソフトウェア著作権協会の久保田裕氏、石澤一良氏がさきごろ鼎談（ていだん）し、家庭や教育現場、自治体での情報モラル認識の重要性について話し合った。

現場での問題点

石澤 子どもたちもインターネット、携帯電話などでデジタル情報に接する機会が増えているが、学校での情報モラル教育の実態と問題点をお聞きしたい。

若月 区内すべての区立小・中学校を対象に実施した



鼎談を終えて、写真左から久保田氏、若月氏、石澤氏

「品川区立小・中学校における情報にかかわる実態調査」では、携帯電話の所有率が小学一年生で男女とも二割を超え、中学三年の女子では八割近くになるという結果が出ている。また、学校外でのインターネット利用経験も小学一

年生で五割を超え、中学二年生で九割に達する。さらに、家庭において携帯電話・インターネット使用時の約束ごとがあるかを問うと、約五割が「なし」と回答している上、「ある」としてもその内容はほとんどが料金についてののみだ。現実的に、チェーンメールやいわゆる「ワン切り」先への返信によるトラブルも多数報告されている。

実態に追いついていない教育現場

若月氏

ルール・法律理解しモラル考える

久保田氏

接触、見知らぬ第三者とのメール交換による大きなトラブルや「悪口サイト」などによるいじめなどが心配され、家庭での情報モラル教育は極めて低調と判断している。学校と家庭の協力がこれからのテーマだ。

久保田 現場の先生は、モラルとルールの違いが分から

ないことから、情報モラルについても明確なイメージを持っていないのではないだろうか。ルールは法律などで明文化されているが、モラルは自然発生的で抽象的だ。そこで、まずは情報ルール、著作権法などが生まれた社会的背景と精神を理解することから始め、情報モラルについて考える足がかりにしていくかが、この実態から有書情報との

若月 品川区は情報モラル

若月

品川区は情報モラル



東京・品川区教育委員会教育長

若月秀夫氏

最後に、著作権保護と利用のバランスをどう取っていくかという問題について。松本 絶版になった漫画本

―最後に、著作権保護と利用のバランスをどう取っていくかという問題について。松本 絶版になった漫画本

―最後に、著作権保護と利用のバランスをどう取っていくかという問題について。松本 絶版になった漫画本

―最後に、著作権保護と利用のバランスをどう取っていくかという問題について。松本 絶版になった漫画本

―最後に、著作権保護と利用のバランスをどう取っていくかという問題について。松本 絶版になった漫画本

法解釈は立法精神の理解から 権利者満足できる新ルール必要 著作権管理を念頭にモデル作れ 文化財として利用できる方法も

久保田氏

松本氏

稲垣氏

石澤氏

には根強いニーズがある。戦前、戦中の作品の復刻を手掛けているが、現在、著作権を誰が保有しているかを調べるのが難しくなっている。こうした事情

には根強いニーズがある。戦前、戦中の作品の復刻を手掛けているが、現在、著作権を誰が保有しているかを調べるのが難しくなっている。こうした事情

には根強いニーズがある。戦前、戦中の作品の復刻を手掛けているが、現在、著作権を誰が保有しているかを調べるのが難しくなっている。こうした事情

には根強いニーズがある。戦前、戦中の作品の復刻を手掛けているが、現在、著作権を誰が保有しているかを調べるのが難しくなっている。こうした事情

には根強いニーズがある。戦前、戦中の作品の復刻を手掛けているが、現在、著作権を誰が保有しているかを調べるのが難しくなっている。こうした事情

教育を児童・生徒向けと、教員・家庭向けの二通りで考え体系化している。児童・生徒向けには、発達段階に応じて反復学習させることで最低限の知識を身につけてもらう努力をしている。一方、大人向けの啓発活動は久保田さんの

教育を児童・生徒向けと、教員・家庭向けの二通りで考え体系化している。児童・生徒向けには、発達段階に応じて反復学習させることで最低限の知識を身につけてもらう努力をしている。一方、大人向けの啓発活動は久保田さんの

教育を児童・生徒向けと、教員・家庭向けの二通りで考え体系化している。児童・生徒向けには、発達段階に応じて反復学習させることで最低限の知識を身につけてもらう努力をしている。一方、大人向けの啓発活動は久保田さんの

教育を児童・生徒向けと、教員・家庭向けの二通りで考え体系化している。児童・生徒向けには、発達段階に応じて反復学習させることで最低限の知識を身につけてもらう努力をしている。一方、大人向けの啓発活動は久保田さんの

教育を児童・生徒向けと、教員・家庭向けの二通りで考え体系化している。児童・生徒向けには、発達段階に応じて反復学習させることで最低限の知識を身につけてもらう努力をしている。一方、大人向けの啓発活動は久保田さんの

現場の先生は、モラルとルールの違いが分から

現場の先生は、モラルとルールの違いが分から